

1. 環境チャレンジ目標2030

環境チャレンジ目標  
エコチャレ  
2030

目標年度：2030年度

2030年に向けた  
環境チャレンジ目標を  
2018年度に策定し、  
取り組みを  
推進しています。



チャレンジ1

2050年度には、  
排出量実質ゼロを  
めざす!

事業活動における  
CO<sub>2</sub>排出量を半減!

重点施策

- 設備更新／車両更新
- 省エネチューニング
- 太陽光自家発電・自家消費
- 電気自動車・トラックの導入
- コープでんきへの切替



チャレンジ2

事業活動における  
食品廃棄物を半減!

重点施策

- 店舗廃棄重量削減
- フードバンクなどへの食品提供拡大
- 食品リサイクル率向上



チャレンジ3

事業活動における  
プラスチック使用量を  
25%削減!

重点施策

- プラスチック製容器包装の削減
- 再生プラやバイオプラなど代替素材への切り替え推進
- プラ削減につながる商品・サービスの開発・供給促進



チャレンジ4

環境に配慮したエシカルな  
商品やサービスの  
開発・供給推進!

重点施策

- 環境配慮型のエシカルな商品・サービスの開発・供給推進
- 地産地消の推進



チャレンジ5

組合員とともに  
エシカル消費を拡大!

重点施策

- エシカルな商品、エシカルな暮らしのあり方に関する学習・広報の推進
- 組合員とともにエシカル消費を拡大



## 2.「環境チャレンジ目標2030」にもとづく2023年度計画

### 〈チャレンジ1〉CO<sub>2</sub>排出量を半減!

- 再エネ100%事業所の対象事業所数を維持。
- 自家発電・自家消費型太陽光発電設備の稼働。
- 省エネチューニングは一部店舗において契約満了に伴い終了。省エネ設備を残置する等、継続して省エネに注力。
- EVトラックの導入を検討。
- 設備更新の際、省エネ設備(冷ケース・LED・空調)への切替えを促進。

### 〈チャレンジ2〉食品廃棄物を半減!

- 食品残さ回収対象店舗を65店舗に拡大。野菜くず、肉脂の他、新たに日配廃棄品の回収拡大。
- 「てまえどり」の認知度を向上。
- 遠隔地の店舗において、店舗設置型のコンポスト機器の導入を検討。

### 〈チャレンジ3〉プラスチック使用量を25%削減!

- 商品の容器包装や店舗・宅配のプラ資材の使用量削減策を検討。
- 畜産ノントレイの取り扱い品目の拡大。
- 広報・学習会を通じ「マイバッグ運動NEXT」の推進強化。

### 〈チャレンジ4〉環境に配慮したエシカルな商品やサービスの開発・供給推進!

- 6月と10月のエシカル強化月間にエシカルな商品の企画・供給促進。
- コープでんきの理解を深める取り組みを推進(エコファーム ソーラーシェアリングの野菜をプレゼント)。
- 店頭回収ペットボトルについて、東播磨地域での「ボトルtoボトル」の取り組みを継続。
- 店頭回収ペットボトルについて、新たに日生協コープ商品の包材原料としての活用を推進。
- 寄付機能付きペットボトル減容回収機の設置と寄付金の贈呈。
- 海洋プラかご(コープ立花)の設置を計画。
- 羽毛回収・リサイクルについて、店舗での継続展開と宅配での試験導入に着手。

### 〈チャレンジ5〉組合員とともにエシカル消費を拡大!

- エシカルやSDGsに関する講演会・学習会(オンライン含む)を実施し、地域全体で取り組みを推進。
- 全店舗でのフードドライブ常時受付の継続。店舗・宅配での集中取り組みを年2回開催。
- 職員研修(「まNabi」)ツールでSDGs関連映画の視聴・学習企画を開催。
- 日生協主催のコープサステナブルアクション(「生き物探し」「レシピコンテスト」等)に参画。
- 食品ロスをテーマとした「語り手学習会(9月)」を開催。組合員・職員と共に普及・啓発を推進。
- 宅配運営部と連携し、古紙めいむ・宅配内袋の返却の呼びかけ強化を実施。回収率向上を促進。
- 「ラジオ関西」にて環境の取り組み(「コープエコのはなし」)を毎月放送(継続)。

### 3. 環境チャレンジ目標「エコチャレ2030」の2022年度達成状況

#### 【チャレンジ1】

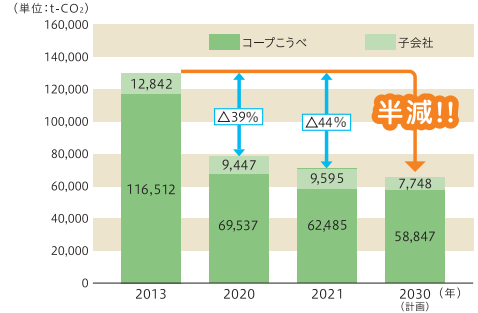
事業活動におけるCO<sub>2</sub>排出量を半減！

〈取り組み・達成状況〉  
エネルギー使用量の削減や再エネ100%事業所の展開など、「量の削減」・「質の改善」両面に取り組み。

**CO<sub>2</sub>排出量(2021年度※)は  
基準年(2013年)比56%(▲44%)と順調に削減。**

※CO<sub>2</sub>排出量は最新の2021年度確定値を記載  
(2022年度実績は2023年11月頃に確定)。

#### ■2030年までのCO<sub>2</sub>削減計画

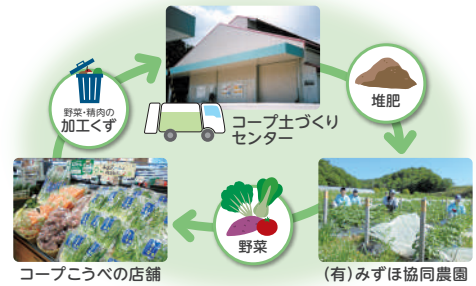


#### 【チャレンジ2】

事業活動における食品廃棄物を半減！

〈取り組み・達成状況〉  
エコファーム残さ回収店舗の拡大、店舗・宅配・食品工場でのロス削減強化。

**基準年(2015年)比83.8%に削減。**



#### 【チャレンジ3】

事業活動におけるプラスチック使用量を25%削減！

〈取り組み・達成状況〉  
容器包装や資材における使い捨てプラスチックの削減、学習会対応、広報強化に取り組み。

**基準年(2017年)比93.6%に削減。**

■ノントレイ商品の導入  
ノントレイ商品の導入に向けて店舗での実験供給を開始。



マイバッグ運動NEXT

#### 【チャレンジ4】

環境に配慮したエシカルな商品やサービスの開発・供給推進！

〈達成状況〉  
エシカルな商品や「コープでんき」の普及・拡大、脱プラ施策の強化等を実施。



コープスのフレンドリーバナナ

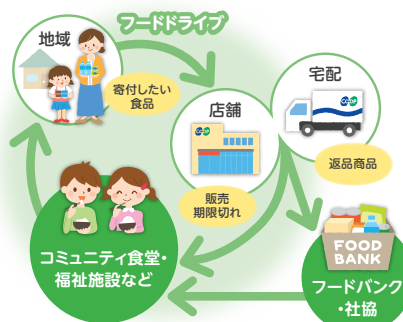


生産地のフィリピンミンダナオ島のビスカイヤ農園

#### 【チャレンジ5】

組合員とともにエシカル消費を拡大！

〈達成状況〉  
コロナ対応が継続する中、オンライン等を活用し組合員とともにエシカル消費・活動を展開。



フードドライブ



「てまえどり」呼びかけの様子